



協力隊派遣予定者自身の企画による

自主補完研修の勧め

協力隊派遣前研修で不足することは、
自分たちの企画で学んでしまおう！

多くの協力隊派遣予定者が自分のスキルに不安を抱いています。

青年海外協力隊の派遣前研修。駒ヶ根・二本松の両訓練所に缶詰で2ヶ月以上の研修期間がありますが、この期間に学ぶのは語学がほとんどで、あとは一般教養程度。業種・人によっては研修所に入る前に技術補完研修がありますが、これも業種ごとに必要最低限の共通項を身につけるための定番の内容で、派遣予定者それぞれのニーズに応えるものでは必ずしもありません。今まで派遣予定者から寄せられた悩みには、以下のようなものがありました。

- ① 村落開発での派遣予定者。配属先が地域住民に対してマイクロ・クレジットを提供しており、その指導とサポートが要請されているので、マイクロ・クレジットの基本について学んでおきたい。
- ② 村落開発及び野菜栽培での派遣予定者。村の商品開発とマーケティングの指導が期待されているので、小規模ビジネスとマーケティングの基本を身につけたい。
- ③ 多くの派遣予定者。国際機関や国際 NGO との協働によるプロジェクトに配属となるので、英語圏でのレポートの書き方や、プレゼンテーションのコツを身につけておきたい。

派遣前の駆け込み受講は…

過去に協力隊員として派遣された方の中には、何とか派遣前に必要なスキルを身につけようと、当社の講座を駆け込み受講された方が何人かおおいです。中には、受講終了後に高速バスに乗って実家に帰宅、荷物を持ってそのまま空港へ向かった方も。でも、派遣直前の貴重な時間は、もっと別のことに充てたい人がほとんどでしょう。

派遣予定者のニーズから生まれた自主補完研修

「派遣直前に受講したいけど時間が割けない。」研修所で訓練中の派遣予定者から相談を受けて生まれたのが「自主補完研修」です。訓練中の土日などを使い、講師が研修所かその周辺まで出向いて、要請に合った内容で講座を実施します。駒ヶ根訓練所で実施したケースでは、日曜日の朝9時から昼休みの1時間を除く夜8時までの10時間、みっちりの研修を組みました。この時の内容は、地域産品の活用とマイクロ・クレジットの基本。幹事役の訓練生が研修所内で参加者を募集し、集まったのは30名強。受講者で頭割りした受講料は一人あたり5千円弱でした。

どんな科目が選べるの？

現在人の森の内部講師で対応できる内容は「参加型開発」「マイクロ・クレジット」「一村一品活動による地域おこし」「マーケティングの基礎」「小規模ビジネスの基礎」「村落開発の基礎知識」「PRA」「PRODEFI モデル」など多岐にわたります。必要に応じて組み合わせることもできます。詳しくは裏面をご覧ください。

まず相談ください。

派遣前訓練期間やその前後で自主研修を企画したい方は、研修内容、実施時期や場所、費用などをご相談下さい。
有限会社人の森 国際協力カレッジ

Tel: 0586-72-5445 Mail: info@hitonomori.com

人の森とは？

国際協力や日本での地域おこしを目指して2005年に設立された会社。JOCV経験者、元国連機関職員等がスタッフです。国際協力分野での人材育成に力を入れており、自社開催で国際協力講座を実施する他、JICAが途上国の人向けに開催する研修コースの実施を受託、研修講師の派遣やコンサルティング業務を行っています。詳しくは <http://hitonomori.com> をご覧ください。



ニーズに合わせて組み合わせ自由！

人の森 国際協力カレッジで学べる科目

人の森・国際協力カレッジでは、より効果の高い協力隊活動を行うための実践的な科目を提供しています。

「自主補完研修」を企画される場合には、協力隊派遣予定者のニーズに合わせて、科目を組み合わせることができます。

科目名	内容
参加型開発 ～村落開発講座1：地域住民の主体性を引き出す開発協力編～	～協力隊活動で、地域住民の主体性を引き出すにはどうしたらよいのだろうか？～ 誤解や混乱の多い参加型開発について整理し、具体的な参加型アプローチ方法や、外部者の役割、外部者による計画の限界などについて学びます。参加型開発やプロジェクト経営の経験豊かな講師・野田直人が、実体験から学んだ参加型のあり方や、協力隊活動に必要な基礎的な知識・スキルについてレクチャーします。
村落開発の基礎知識 ～村落開発講座2：社会/経済に関する基礎知識と演習編～	～村落開発に必要なのは社会・経済・ビジネスの基本～ 協力隊活動（特に村落開発）に必要な、社会面・経済面の基礎知識と、ビジネス的な基礎知識を学んだあと、実際の事例を分析する演習を通して実践力を磨きます。この講座で学ぶ知識を生かすと、村落開発の現場で起こりやすい間違いを減らすことができ、援助活動の効率性や効果を向上させることができます。
実践！マイクロ・クレジット講座	協力隊活動で収入向上支援、生活改善、貧困削減、地域振興などに携わる予定の方は、自らのビジネス・センスを磨くことが不可欠です。この講座では、グラミン銀行を題材にマイクロ・クレジットの基礎と社会開発の全体像を学び、演習を通して経営的な基礎知識を身につけます。
一村一品運動による地域おこし ～地域産品を活用した村落開発講座～	日本の村落開発の経験を途上国で最大限活かすための知恵を学ぶ講座。「一村一品運動」の本来の目指すべき方向、社会開発と経済開発の違いとその2つを結びつけるためのポイントを学びます。また、日本の一村一品運動や「いろどり」の事例など、日本の地域開発の成功事例に共通する“ビジネスモデル”についても取り上げ、開発関係の本や学校では学べない知識とセンスを身につけます。実際の協力隊活動において気をつけなければならない点など、運営上のツボも押さえます。
マーケティングの基礎	協力隊活動の中で、地域住民が作った農産物やその加工品を販売することがよくあります。ところが、マーケティングの基礎知識がないため、商品を作ってから「さて、どうやって売るか」を考えているケースがほとんど。これではマーケティングになっていません。この講座ではマーケティングの意味と基礎知識を学びます。
PRODEFI モデルの概要	PRODEFI（プロデフィ）モデルはセネガルで、人の森代表・野田直人が開発した、研修をベースにした参加型のアプローチです。このモデルはその後、JICA が実施するマラウイのプロジェクトで採用された他、他の多くのプロジェクトや NGO 活動に取り入れられています。PRODEFI モデルには特別なスキルは必要ありません。人や社会・経済にかかわる常識的な原則を、開発協力の中でどう生かすかの知恵を中心に学びます。

■その他の講座■

レポートライティング講座：誰にでもわかる論理的なレポートを書けるようになるためのスキル習得を目指します。

プレゼンテーションスキルアップ講座：訴求力が強く相手を動かすためのプレゼンテーションスキルを身につけます。

人とコミュニケーション・マネージメント講座：

プロジェクトに関わる関係者間での情報共有のしかたやコミュニケーション円滑化のための基礎について学びます。

より詳しい情報は当社ホームページをご覧ください http://www.hitonomori.com/dev_seminar/index.html

有限会社人の森 国際協力カレッジ Tel: 0586-72-5445